

ミステリ読書案内

2022. 11. 1 発行元

第412号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

友井羊「放課後レシピで謎解きを」

2月に集英社文庫から出た友井羊の『放課後レシピで謎解きを』を取り上げることにする。「ミステリ」という観点というよりは、学校で長年教員を勤めてきて感じたことを記したい思いが強かったからだ。

表のテーマは料理の謎

2016年に出た『スイーツレシピで謎解きを』の姉妹編。友井羊の作品には料理関係の話が多い。本書も前面に出ているのは料理に関する謎の追求。前作『スイーツレシピ』と舞台は共通しているが、登場人物は入れ替わっている。

高校二年生の猪突猛進型の荻田夏希と、引っ込み思案の落合結の二人の物語と言っても良い。共に調理部に転部するところから始まる。でも、たちまちにもめ事が起きて退部することに。「なぜ自分が疑われたのか」の謎を解明するのが第一話。

ここでも「膨らまなかったパン」「固まらない寒天」など料理関連の不思議が出てくる。化学変化絡みの説明になるものも多い。

裏のテーマは切実なもの

ミステリとしての出来はそれほど高いものではない。でも私がこの作品を取りあげようと思ったのは、

登場人物たちが直面している切実な問題について書きたくなったから。夏希は忘れ物が多く、集中できる時とできない時が極端。じっとしていることが苦手で、衝動的に動いてしまうこともある。結はあがり症で人前に出ることが苦手。何もしやべれなくなってしまう。二人とも集団に馴染めず、孤立してしまうこともある。この二人が協力して前進していく活躍が素晴らしい。

学校で教員をしていると難しさを感じる部分である。

発達障害のようなもの

多少ネタばれに繋がることは許してほしい。私も教員になって後半は「発達障害」について学習する機会が多くなった。参考文献に上げられている岡田尊司氏の本もたくさん読んだ。今は「発達障害」の話なしに学校教育は語れない。

「障害」という名前が悪い。どこにでもある普通のこと。発達障害的な傾向、要素は誰にもありそうで

友井羊・作品リスト

1. 僕はお父さんを訴えます
2. ボランティアバスで行こう!
3. スープ屋しずくの謎解き朝ごはん
4. さえこ照ラス
5. スープ屋・今日を迎えるためのポタージュ
6. 向日葵ちゃん追跡する
7. スイーツレシピで謎解きを
8. 魔法使いの願いごと
9. スープ屋・想いを伝えるシチュー
10. 映画化決定
11. 沖縄オバアの小さな偽証
12. スープ屋・まだ見ぬ場所のブイヤベース
13. 無実の君が裁かれる理由
14. スープ屋・子ども食堂と家族のおみそ汁
15. スープ屋・心をつなぐスープカレー
16. スープ屋・朝食フェスと決意のグヤーシュ
17. 放課後レシピで謎解きを

あり、グレーゾーンに位置する人もそれなりにいると思うのだ。本書でも夏希の父親は「障害」に理解を示そうとしない。でも私は今後世の中全体の理解が進むことを願っている。身近に存在するごく普通の人という認識ができてほしい。子どもたちにとって生きやすい環境が整っていくことを切に願う。

学校は社会の縮図のような部分がある。上や下、強いや弱い、できない…などで差別やいじめが生じてはいけないのだ。

伊井圭「啄木鳥探偵處」

1999年東京創元社。作者の伊井圭は私よりも年上で、2014年に亡くなっている。2020年にテレビアニメ化されることで話題を集め、私も創元推理文庫版で読んだ。テレビでは荻原朔太郎、若山牧水、芥川龍之介など豪華な登場人物が登場するようだが、原作では石川啄木と金田一京助中心の展開である。私のように岩手県に住んでいるとどうしても宮沢賢治と石川啄木は特別な存在のように感じてしまう。まあ、しかたがないことか。

石川啄木が探偵事務所を開いたという事実はない。その点は全くの架空の話だが、啄木の人物像はよく描けていると思う。現実には、常に厳しい生活であり、周りの人たちに借金を重ね、周りに迷惑をかけることが多かった。特に本書に取り上げられている時期は病気の悪化もあり、全てが悪い方向に回っているのが実情だ。残された短歌の世界と啄木の人生はある意味、密着しているようでかけ離れた要素も持ち合わせている。

5つの話を集めた連作短編集になっている。第一話の『高塔奇譚』は浅草十二階(凌雲閣)での幽霊さわぎを扱っている。ホームズ役が啄木で、ワトソン役が金田一。幽霊が出る噂で客足が遠のいたので、その解決を依頼され出掛けてみると死体と出会うことに…。明治42年当時の様子がしっかり描写されている。アニメの原作に使われたものなので若者向けかと思ったが、思いの外ゆっくり丁寧に読む必要があった。どの短編も筋が読み取りにくい。作者が言いたいことがなかなか伝わりにくい箇所が多いと感じた。